

日本音楽集団

PRO MUSICA NIPPONIA



第191回定期演奏会
The 191st Regular Concert

《管・絃・打響》

～大編成アンサンブルの魅力～

2008年
5月21日(水)
午後7時開演
(6時30分開場)
第一生命ホール

TAN's Amici Concert

- ◆ 主催：特定非営利活動法人日本音楽集団
NPOトリトン・アーツ・ネットワーク／第一生命ホール
- ◆ 助成：財団法人 花王[®] 芸術・科学財団 財団法人 朝日新聞文化財団
- ◆ 日本音楽集団： <http://www.promusica.or.jp/> E-mail office@promusica.or.jp
- ◆ トリトン・アーツ・ネットワーク： <http://www.triton-arts.net>

プログラム

一、夷曲(ひなぶり)・西陵楽 芝祐靖 作曲(1985年)

[笛] I 西川浩平 II 竹井 誠
[笙] 真鍋尚之
[箏] 西原祐二
[尺八] I 米澤 浩 II 渡辺 淳 III 阪口夕山
[胡弓] 多々良香保里
[琵琶] 桜井亜木子(助演)
[二十絃箏] I 熊沢栄利子・高橋はるな II 早川智子・前川美保子
[十七絃] 久本桂子・佐藤里美
[打楽器] 仙堂新太郎・若月宣宏・盧 慶順
[指揮] 田村拓男

二、十七絃と邦楽器群のための協奏曲 秋岸寛久 作曲(委嘱初演)

十七絃独奏 = 宮越圭子
[笛] 竹井 誠
[尺八] I 加藤秀和 II 渡辺 淳
[三味線] 穂積大志
[琵琶] 田原順子
[二十絃箏] I 早川智子 II 彦坂恵美
[十七絃] 城ヶ崎美保
[打楽器] 高橋明邦・若月宣宏・島村聖香
[指揮] 秋岸寛久

三、朱輪金鈴 長沢勝俊 作曲(1971年)

[笛] 西川浩平
[尺八] I 藤崎重康 II 中村仁樹(助演) III 阪口夕山 IV 加藤秀和 V 渡辺 淳 VI 米澤 浩
[太棹三味線] 工藤哲子
[細棹三味線] 蓑田弘大
[琵琶] 首藤久美子
[箏] I 熊沢栄利子・佐藤里美 II 久本桂子・高橋はるな
[十七絃] 城ヶ崎美保・丸岡映美
[打楽器] 望月太喜之丞・盧 慶順・島村聖香
[指揮] 稲田 康

休憩

四、巨火(ほと) 三木 稔 作曲(1976年)

[笛] I 竹井 誠 II 西川浩平
[尺八] I 藤崎重康・中村仁樹(助演) II 米澤 浩・阪口夕山 III 加藤秀和・渡辺 淳
[胡弓] 多々良香保里
[琵琶] 田原順子・首藤久美子・桜井亜木子(助演)
[箏] I 早川智子・前川美保子 II 高橋はるな・渡辺正子
[二十絃箏] I 吉村七重・田村法子 II 城ヶ崎美保・彦坂恵美
[十七絃] I 宮越圭子・丸岡映美 II 久本桂子・佐藤里美
[打楽器] 尾崎太一・仙堂新太郎・望月太喜之丞・若月宣宏・盧 慶順・島村聖香
[指揮] 田村拓男

ソリストプロフィール



宮越 圭子(みやこし けいこ)

1974年正派音楽院研究科修了。同院にて箏を中島靖子・後藤すみ子、三絃を井上道子・三宅倫子他に師事。同年NHK邦楽技能者育成会卒。日本音楽集団入団。NHKオーディション合格。以後、数多くのコンサート、CD録音の他、三木稔のオペラ「あだ」・歌楽「うたよみざる」の二十絃、「春琴抄」の三絃、市川猿之助スーパー歌舞伎の音楽の十七絃の担当など幅広く活躍する(国内約1200公演、海外20カ国50都市)。1987年は新潟県上越市、1988年・1993年は東京に於いて十七絃リサイタルを開催。豊かな音楽性や表現力、確かなテクニックには定評があり、アンサンブルの十七絃奏者及びソリストとして実力を認められている。現在、正派音楽院助教授、正派邦楽会大師範、正派合奏団団員、桐韻会会員、創造学園大学非常勤講師。

作曲家プロフィール



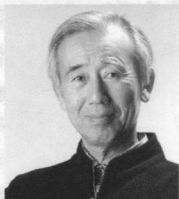
芝 祐靖(しば すけやす)

1935年8月東京生。奈良系の伶人の家に生まれたため、宮内庁楽生科で古代歌謡、横笛、左舞、琵琶などを修め1955年卒業。1958年同庁楽師として宮中儀式に奉仕。1984年宮内庁を退官し伶楽舎を結成。在野の雅楽人として横笛を中心に国内外で演奏活動するほか、現代邦楽、現代雅楽の作曲、また、雅楽廃絶曲の復元を続ける。〈受賞〉1987年度芸術選奨文部大臣賞。1999年春 紫綬褒章。2003年6月 恩賜賞・日本芸術院賞。《現在》伶楽舎音楽監督。日本芸術院会員。



長沢 勝俊(ながさわ かつとし)

1923年東京に生れる。清瀬保二に作曲を師事。64年の日本音楽集団創立に参加。49年以来人形劇団「ブーク」の音楽を監督。86年歌舞伎・市川猿之助「ヤマトケル」などの音楽を作曲。90年紫綬褒章を受章。6回の日本音楽集団の海外公演に参加。日本大学芸術学部修了。「子供のための組曲」「組曲・人形風土記」「大津絵幻想」「萌春」「錦木によせて」他邦楽器のための作品多数。日本音楽集団の名誉代表を務める。本年1月没 享年84歳。



三木 稔(みき みのる)

《春琴抄》から《源氏物語》《愛怨》まで「三木稔、日本史オペラ8連作」が05年に完結。日本音楽集団(1964)以来、三木オペラ舎(旧歌座)・結アンサンブル・オーケストラアジア・オーラJ・アジア アンサンブル、北杜国際音楽祭を創立し、例のない創造・プロデュース活動を国際的に展開。《急の曲 Symphony for Two Worlds》などの管弦楽曲、欧米で1万回も演奏の《Marimba Spiritual》など室内楽・打楽器作品の多くは国際的なレパートリーとなっている。芸術祭大賞・紫綬褒章等受賞。各種楽譜・CD「三木稔選集I～VII」・著書「日本楽器法」など出版多数。 <http://www.m-miki.com>



秋岸 寛久(あきぎし ひろひさ)

横浜生まれ。東京音楽大学作曲科卒。助川敏弥、浦田健次郎、三木稔の各氏に師事。同大学研究科を修了後、日本音楽集団に入団。邦楽器のための作品も数多い。日本フィル九州公演、横浜国大グリークラブ、NHK邦楽技能者育成会、オーストリア、シュライニング音楽祭、オーケストラ・アジア等からの委嘱や、市川猿之助スーパー歌舞伎「オオクニヌシ」の音楽、NHK伝統和楽団の編曲等を手がける。

● 日本音楽集団 最近の活動と今後のおもな予定 ●

2007年

11月2日(金) 四街道市民文化祭 文化講演会
四街道市文化センター大ホール

11月17日(土) 189回 定期公演

～語りと音楽～
第一生命ホール

11月29日(木) TAN共催「Meet The 和楽器」
日本橋小学校

12月4日(火) 小学校音楽鑑賞会 佐倉市民音楽ホール

12月21日(金) TAN共催「Meet The 和楽器」 坂本小学校

2008年

1月14日(月) TAN共催「Meet The 和楽器」
日本橋公会堂

1月26日(土) 190回定期公演
～邦楽器アンサンブルの展望～
津田ホール

2月15日(金) 関西特別公演 豊中市立アクア文化ホール

2月23日(土) 春日井公演 春日井市東部文化センター

2月24日(日) 町田こども劇場 ひなた村カリヨンホール

3月6日(木) 防衛大学校公演 防衛大学講堂

3月8日(土)～10日(日) グラントワ益田公演
島根県芸術文化センター「グラントワ大ホール」

5月21日(水) 191回 定期公演 《管・絃・打 響》
～大編成アンサンブルの魅力～
第一生命ホール

6月6日(金) 上山学校音楽鑑賞会公演 上山市市民会館

6月13日(金) 大阪教育大附属高校学校公演 クレオ大阪南

8月8日(金)～10日(日) 夏期合奏講習会
大日本家庭音楽会 神田スタジオ

8月27日(水)～9月3日(水) 第28次海外公演
日伯交流年ブラジル移住100周年記念音楽会
サンパウロ SESCピラマリアナ

9月25日(木) 192回 定期公演 明日への扉を開くII
～創造の歴史と未来～
津田ホール

11月3日(月) 第23回国民文化祭・いばらき2008「邦楽の祭典」
取手市市民会館

11月15日(土) 193回 定期公演
和・声 邦楽器と合唱の交響
第一生命ホール

特定非営利活動法人日本音楽集団

【正会員】(団員)(楽器別・五十音順)

笛
越智成人
竹井誠(尺八)
西川浩平

宮田耕八朗
元永拓
米澤浩
渡辺淳

笙
真鍋尚之

胡弓
畦地啓司(作曲)
多々良香保里

箏
西原祐二

三味線
杵家七三
工藤哲子
田中悠美子
穂積大志
簗田弘大
簗田司郎
守啓伊子
山崎千鶴子

尺八
加藤秀和
阪口夕山
添川浩史
原郷隆
藤崎重康(笛)
水川寿也
三橋貴風

琵琶
久保田晶子
首藤久美子
田原順子
細川華鶴子

箏
大畠菜穂子
久東寿子
熊沢栄利子
桜井智永
佐藤里美
島崎春美
城ヶ崎美保
高橋はるな
田村法子
早川智子
彦坂恵美
久本桂子

前川美保子
松下知代
丸岡映美
三宅礼子
三宮越圭子
山田明美
吉村七重子
渡辺正子

打楽器
白杵美智代
尾崎太一
黒坂昇香
島村聖香
仙堂新太郎
高橋明邦(指揮)
多田恵子
望月太喜之丞
盧慶順
若月宣宏

指揮
稲田康
田村拓男
田村文生

作曲
秋岸寛久
尾形敏幸
川崎絵都夫
福嶋頼秀

楽器・舞台
中島隆

代表
田村拓男

副代表
尾崎太一

運営委員
秋岸寛久
越智成人
西川浩平
原郷隆
簗田司郎
望月太喜之丞
米澤浩

監事
宮田耕八朗
今井隆夫

事務局
中山美穂子
百武幸子

2008年4月現在

【賛助会員】(五十音順)

法人
(株)全音楽譜出版社
(株)宮本卯之助商店
NPOトリトン・アーツ・ネットワーク

個人
青柳堯 棚野正士
安達真五 土井恵見
新井克輔 水野正徳
飯塚絹子 宮川慶子
江西緑 渡辺邦子
大関富枝
太田颯衣
大塚悦子
川壁正
岸彰則
後藤陽子
四反田素幸

【協力会員】(五十音順)

名誉団員
坂井敏子
白根きぬ子
野坂恵子
宮本幸子

団友
青木誠
秋浜悟史
荒谷俊治
伊藤惣一
稲垣隆史
大窪悦子
川崎祥悦
菊地悌子
楠知子
鞍掛昭二
鯉沼廣行

坂田進一
芝祐靖
清水義矩
杉浦弘和
砂崎知子
芹沢英子
高野文子
田嶋恵美子
田嶋直士
田中利光
鶴野和子
藤舎呂悦
藤舎呂船
仲侯申喜男
半田淳子
廣瀬量平
福田輝久
鳳声晴

星旭
細谷一郎
増田睦美
望月太左衛
望月太八
元橋康男
矢崎明子
柳家小三治
横山勝也
吉沢昌江
デイヴィッド・ローブ
デイヴィッド・ヒューズ
ヘンリー・バーネット
ラニィ・シュルダン
王燕樵
張曉輝

地方支部
道東支部 谷藤 彌
道東支部 竹馬 亘
水戸支部 斎藤 幸山
山梨支部 郷 晃
長野支部 佐藤 幸宇山
新潟支部 飯吉 正山
愛知支部 山田 孝子
愛媛支部 渡辺 治子
福岡支部 安武 由香理
熊本支部 古川 安春

2008年4月現在

賛助会員へのお誘い

1999年10月、特定非営利活動法人日本音楽集団が発足したのを契機に、賛助会員を募集しています。多くの方々からの支援を仰ぎ、息の長い活動の定着と発展を目指したく、ご協力をお願い申し上げます。

年間 個人会員10,000円(一口以上)

法人会員30,000円(一口以上)

詳細は日本音楽集団事務局までお問い合わせ下さい。またホームページにおいても、お申し込み方法など詳しくご案内しております。

日本音楽集団ホームページ

<http://www.promusica.or.jp/>

ニッポニア・ファイブ受付中

連続5回の定期演奏会がお得な料金でフリーパスになります。

●予約で良いお席を確保、お連れ様は1割引となります。日本音楽集団主催コンサート、CD、楽譜の割引が受けられます。

ニッポニアAファイブ

定価5,000円のA指定席を5回連続15,000円

ニッポニアBファイブ

定価4,000円のB指定席を5回連続12,000円

ニッポニアネットワーク

(日本音楽集団ファンクラブ)

定期演奏会や楽譜、CDなどの割引、その他の公演、活動、団員のリサイクルのご案内の送付などをいたします。

年間2,000円

《管・絃・打 響》のタイトル

日本音楽集団代表 田村拓男

ようこそお越しくださいました。

「管」「絃」「打」の間に黒丸、「響」の前に半角のスペースを置いたこのタイトル。

優しく、強く、美しく、静かに祀り、激しく祭る、華々しいコンサートの中身をイメージできるようにと皆で考えたものです。今宵をお楽しみ頂けたら幸いです。

日本音楽集団は、古来の伝統音楽・邦楽器のジャンルを超えた新たな合奏曲を創造し、演奏技術の向上を目指してきました。流派や家元制など縦の系列に重きをおいて育まれてきた伝統音楽。西洋オーケストラのような合奏には不向きとされていた邦楽器たちの挑戦が始まったのが44年前でした。

当時は、物珍しさやその行方にも関心が持たれ、多くの評論家や識者の方々が新聞・雑誌・放送などでしばしば取り上げられました。「現代邦楽」という言葉も生まれ、殊に大学の邦楽サークルでは新曲の誕生を待ちわびるように競って演奏していました。今では一般も含めて全国でたくさんの邦楽合奏団も生まれ、ごく自然な形で多くの方々が新しい合奏を楽しんでいます。

今回、評論家の上野晃氏が文章を寄せてくださいました。氏は私たちの誕生から今日までをつぶさにみてこられたお一人で、今やその数も少なくなりました。

昨年11月定期「語りと音楽」では、「竹取物語～龍女の玉(1976年)」（海津勝一郎作・長澤勝俊作曲・語り稲垣隆史）がこれまでにない最高の出来栄えになり、一つの達成感のようなものを覚えたのです（私が言うのも妙ですね...）。名実ともに名作となるには、何十回もの再演を重ねた上に30数年もの月日が必要であったのだと思われました。これらの史実を伝える評論家・識者・マスコミ・文化を思いやる行政などがもっと増えて欲しいと思うのは私だけではないと思います。

《管・絃・打 響》大編成アンサンブル

上野 晃

平成の当代も20の年輪を刻む今頃、邦楽の三曲を主とするゾーンで、大きい合奏陣がプロとアマのいずれにも盛んになりつつあるのを新方向に感得します。日本音楽集団が14人の同人でスタートしたのは、1964年の芸術祭参加というメモリアルな国民音楽的環境においてでした。以来44年、191回の定期演奏会にて、敢えて大編成合奏をプロポジションするところに現在おります。

夷曲「西陵楽」（ひなぶり・さいりょうらく）は1985年12月の第91回定期演奏会で初演された芝祐靖委嘱作品。敦煌の千仏壁画の「胡旋女舞図」や「飛天奏楽図」などの心象、そして第十七窟から発見（パリ国立図書館蔵）の琵琶譜の旋律が引用されている、と作曲者。砂漠の千仏洞を映す静かな序奏は、敦煌の風に乗って唐代の打楽を呼び、更に洞内の西域ふう壁画から羊飼いの笛が聴こえて合奏を賑々しく、薄絹衣装を靡かせる胡旋女の「蘇羅密」舞曲から、飛天の奏楽に移っては、琵琶と笙のジョイントに始まり、箏と十七絃を主力とする「傾盃楽」の終曲によって、唐代の舞曲を再興せんとする大合奏を試みています。

「十七絃と邦楽器群のための協奏曲」は、今回のための委嘱初演の新作。作曲者の秋岸寛久は、日本音楽集団の座付き作曲家になってから、かなりの邦楽曲が書かれています。96年1月の第141回定期演奏会の〈秋岸寛久作品特集〉は、それを決定づけるものでした。「撃壤歌」における4人の打楽器奏者が16種30数個の打楽器を扱っての軽快なドライブ。「響影空間」の20名に渡るソロ連と合奏陣による協奏曲。これらから、今回の個と群の新たな協奏空間を予感しています。

交響的幻想曲「朱輪金鈴」（しゅりんきんれい）は、1971年7月の第19回定期演奏会で初演された長沢勝俊作品。同年のNHK委嘱作で、放送初演は11月。朱輪は、古墳に見られる同心円の輪で日時計に似ています。金鈴は、副葬品のなかから発見された小さな金の鈴。多くの古墳のうちからもっとも強く心に迫られた二つによって、この曲のタイトルになりましたが、古代人の夢を憧憬的なファンタジーに描いた、この作曲家らしい情緒のあらわれ、篠笛に次いで尺八6、箏もIパートとIIパートを合わせると6、打楽器3の大編成には、中国古代の石楽器の磬、四国特産のサヌカイト石も使われています。

「巨火」（ほて）は、日本音楽集団第27回定期演奏会でタイトル〈かぐら1976〉三木稔企画・構成・作曲によって初演。63年の「くるだんど」を先鞭に、66年の「古代舞曲によるパラフレーズ」を本格スタートして丁度十年、三木の十作目となる大合奏曲。日本音楽集団のアンサンブルのために書かれた三木稔作品では、一番の大きい編成。管絃十六名を打楽器四人が囲み、上手前方の打楽が指揮者を兼ねます。87年の第100回記念定期演奏会では、琵琶四名も含む三十三名の大合奏を披露。今回は編成が三十四名の陣容。ステージ四隅に分散の打楽器も集配され、打楽兼任の指揮者も独立の見込みで、オーケストラな邦楽器大合奏陣を意図しています。巨火の“ホテ”は、作曲者の郷里徳島の方言に由来するらしい。盆の虫送り道行きで多勢の捧げもつ松明の焰をイメージしています。いくらか厳粛な雰囲気か漂う祀りの第1楽部、スケルツォか嬉遊曲のような第2楽部、秩父屋台囃子も引越したような祭りの第3楽部でフィナーレに到ります。

日本音楽集団 夏期合奏講習会2008 開催!

日程：2008年8月8日(金)～10日(日) 会場：大日本家庭音楽会 神田スタジオ

長沢勝俊の名曲「春の一日」、そして今年1月の定期で初演の2曲を、日本音楽集団指揮者田村拓男と所属の演奏家と共に合奏体験してみませんか?

【講習会曲目】

- ・「春の一日」(長沢勝俊)
- ・「邦楽器のためのインプロヴィゼーション」(秋岸寛久)
- ・「源氏三綴」(福嶋頼秀)

詳細は下記日本音楽集団事務局までお問い合わせ下さい。またホームページにおいても、お申し込み方法など詳しくご案内しております。

特定非営利活動法人

日本音楽集団

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚3-17-1 滝沢ビル302 TEL03-3378-4741 FAX03-3376-2033
ホームページ <http://www.promusica.or.jp/> E-Mail office@promusica.or.jp



アイ・エム・エス

●楽器リース ●保管 ●移動 ●ステージ・スタッフ派遣

〒167-0043 東京都杉並区上荻2-3-4 ゆうでんビル

PHONE.03-3397-2292

FAX. 03-3397-7728

URL : <http://www.ims-tokyo.co.jp>

E-mail : ims-mail@ims-tokyo.co.jp

粋に愉しむ

株式会社 琴光堂

〒152-0003 東京都目黒区碑文谷2-19-15
TEL 03(3792)8481 FAX 03(3792) 8437
URL : <http://kinko-do.com/>
E-mail : tokyo@kinko-do.com